

# 市民いこいの家廃止問題、若竹寮職員処遇などを追及

厚生常任委員会の決算審議では、担当の平良木議員が市民いこいの家の廃止問題や、児童養護施設若竹寮の職員の処遇改善などについて追及しました。

**福祉部**  
市による市民いこいの家の廃止方針に対して、直江津区地域協議会が「支障あり」と答申しました。このことについて平良木議員は、「周知不足だけでなく、利便性の面で問題があるという答申ではないか」と指摘しました。これに対して行政側は、「答申の理由の一つには利便性の点があり、民間施設だとバスでいく必要があるという内容だったが、利用者の約90%が自家用車利用であった。また、民間は利用料が高いという点では、いこいの家がシニアパスポートを使うと180円、民間は440円から750円と確かに高いが、これについては利用していない方々からも市税をいただいているという説明をしている」と答えました。そこで平良木議員は、「いこいの家は入浴後にゆっくり語り合うスペースが無料で用意されていて、コミュニケーションが取れることがよいところだ。福祉、外出支援

という意味で造られたことを考えると、利用者同士がゆっくり話ができるスペースが保障されているという大きな役割があることも認識していただきたい」と指摘しました。健康子育て部  
児童養護施設若竹寮は、5年前から民間事業者への指定管理となつています。平良木議員はその点について、「ここ数年の児童の状況が非常に大きく変化してきたことから、スタッフの処遇も非常に大事になってきているので、同じく子どもに関わる職業として、教員並みの賃金を保障することが大事ではないか」と指摘しました。行政側は、「同業者あるいは地域の同様な社会福祉法人を調べた上できちんと配慮されてると聞いている」と答えました。そこで平良木議員は重ねて、「インターネット上に求人票その他も公開されているが、少なくとも小中高の教員と比べてはるかに低

い実態もある。困難を抱えている子どもたちに直接接していることを考えると、小中高の教員を基準とすべきだ」と指摘しました。そして、「指定管理料は、直営の時よりもかなり少なくなっている。そうした中でスタッフを手厚く配置しているそうだが、少なくとも、以前の市直営のときの予算を確保すべきではないか」と追及しました。これに対して行政側は、「事業者からは予算の問題ではないと聞いている」と答弁したので、平良木議員が「事業者にとつては言いにくい問題だ。それこそ、付度が必要ではないか」と指摘すると、行政側は「必要な状況については、確認をさせていたただく」と答えました。

**日本共産党上越市議員団ニュース**  
No.763 2022年9月25日  
連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

# 工事落札率問題、中学生の広島派遣などを追及

9月議会総務常任委員会での決算審議では、担当の橋爪議員が市の発注する工事の落札率問題や、中学生の広島平和記念式典への派遣事業の縮小などについて追及しました。

**財務部**  
市が発注する多くの工事は入札で業者を決めています。このうち、談合問題を踏まえて入札方法を改善したガス水道局関連が多い管工事に比べ、他の工事の落札率が極めて高いまま推移している点を、橋爪議員が追及しました。行政側は、「管工事は設備工事が多く機器の価格の割引率が高いことから落札率が低い」と答えたが、それだけでは説明し切れません。入札方法の抜本的改善が必要です。橋爪議員はまた、入札が不調となった場合に、入札業者との間で随意契約をしていることについて、「随意契約ではなく、入札のやり直しをするなどの取り扱い方法の改善が必要ではないか」とたどしました。これに対しては、「不都合とは感じていないので、方法変更の計画はない」とこれまでと同趣旨の答弁をしました。

**自治・市民環境部**  
市は、平和友好都市宣言に基づいて、市内の中学生を広島市で行われる平和記念式典に派遣する事業を行っていますが、それまですべての中学校から1人ずつ派遣していたものを、3年前から3分の1に事業を縮小し、1校からは3年に一度しか派遣できないようになってしまいました。このことについて橋爪議員は、「中学生が被ばくした現地で体験することは平和の心を身につける意味で極めて重要。予算を惜しんでいる問題ではない。宣言にふさわしくすべての学校からの派遣に戻すべきだ」と指摘しました。これに対して行政側は、「今の体制は3年間の一巡後に見直すこととしているが、コロナ禍で2年間派遣できないので今年も同じとした。いずれ見直しを含めて検討する」と答えました。また、橋爪議員は、「広島だけでなく長崎や沖縄への派遣も含めて事業を充実させるべきだ」と追及し

ました。これに対して行政側は、「市長ともよく話し合って検討する」と答えました。  
**企画政策部**  
橋爪議員は、「県や国への要望の内容が公開されていないのではないか」と指摘しました。これに対して行政側は、「国への要望内容はホームページで公表しているが、県への要望は非公開であった。公開する方向で検討する」と答えました。

